

1 策定委員会・作業部会 委員名簿

①策定委員会

(敬称略)

役職名	所 属	氏名	備考
委員長	日本福祉大学 経済学部准教授	鈴木 健司	学識経験者
委員	半田市農業委員会 会長	長尾 興家	産業関係者（農業）
委員	あいち知多農業協同組合 半田事業部 事業部長	靱山 康雄	産業関係者（農業）
委員	半田市商店街連合会 理事	城平 直人	産業関係者（商業）
委員	半田商工会議所 専務理事	小柳 厚	産業関係者（商工業）
委員	知多信用金庫 常務理事	北村 文夫	産業関係者（商工業）
委員	J F E スチール株式会社 知多製造所 総務部長	小原 史彦	産業関係者（工業）
委員	特定非営利活動法人 半田市観光協会 理事	榊原 敏雄	観光関係者
委員	知多半島観光圏協議会 副会長	山本 勝子	観光関係者
委員	ミツカングループ 総務部 課長待遇	沢田 雅史	観光関係者
委員	半田市市民経済部長	出口 久浩	行政機関
委員	半田市企画部企画課長	大木 康敬	行政機関
委員	半田市企画部市民協働課長	藤井 寿芳	行政機関
委員	半田市建設部都市計画課長	田中 秀則	行政機関
委員	半田市建設部市街地整備課長	奥田 陽一	行政機関
委員	半田市教育部博物館長	関 正樹	行政機関
委員	半田市市民経済部経済課長	河合 信二	行政機関
委員	半田市市民経済部観光課長	竹内 正	行政機関

②作業部会

(敬称略)

役職名	所 属	氏名	備考
部会長	日本福祉大学 経済学部准教授	鈴木 健司	学識経験者
部会員	半田市農業経営士会 会長	小栗 雅士	産業関係者（農業）
部会員	愛知県農村生活アドバイザー協会 知多支部半田地区	鈴木 美代子	産業関係者（農業）
部会員	半田駅前商店街振興組合 理事	内田 雄介	産業関係者（商業）
部会員	半田商工会議所 事務局長	森 啓貴	産業関係者（商工業）
部会員	半田信用金庫本店 営業部長	近藤 要志	産業関係者（商工業）
部会員	株式会社SUBARU 航空宇宙カンパニー 半田安全衛生課長	板橋 知信	産業関係者（工業）
部会員	特定非営利活動法人 半田市観光協会 事務局長	榊原 宏	観光関係者
部会員	名古屋鉄道株式会社 鉄道事業本部営業部 営業推進課長	加地 寛行	観光関係者
部会員	一般社団法人 赤煉瓦倶楽部半田 理事長	馬場 信雄	市民団体（観光）
部会員	半田市企画部企画課 主査	内田 敦士	行政機関
部会員	半田市企画部市民協働課（市民交流センター） 副主幹	鳥居 ひとみ	行政機関
部会員	半田市建設部都市計画課 副主幹	石川 憲一	行政機関
部会員	半田市建設部市街地整備課 副主幹	岸岡 宏昌	行政機関
部会員	半田市教育部新美南吉記念館 学芸員	三輪 みなみ	行政機関
部会員	半田市教育部博物館 副主幹	佐々木 信裕	行政機関
部会員	半田市市民経済部経済課（農務担当） 副主幹	青木 美希	行政機関
部会員	半田市市民経済部経済課（商工担当） 主査	鈴木 俊聡	行政機関
部会員	半田市市民経済部経済課（企業立地担当） 主査	竹内 法道	行政機関
部会員	半田市市民経済部観光課 主査	酒井 諭	行政機関

事務局

半田市経済課長	河合 信二
半田市観光課長	竹内 正
半田市経済課	太田 敦之
半田市経済課	赤坂 雪江

2 計画 策定経過

	策定委員会	作業部会	関連する策定作業
5/21	第1回半田市産業・観光振興計画策定委員会・作業部会 (書面開催) 【議題】 (1) 半田市産業・観光振興計画について (2) 意見交換(書面による意見聴取に変更)		・現計画の評価検証
6/1- 6/25			・事業所 WEB アンケート調査の実施 (半田商工会議所会員企業(ただし市内立地)約2,250社、回答数18社)
6/10- 6/30			・市民意識調査の実施 (市内在住15歳以上の方3,000人を対象、回答数1,287人)
6/4- 7/30			・事業所ヒアリング調査の実施(17団体)
7/13		第2回半田市産業・観光振興計画作業部会 【報告】 (1) スケジュールの確認 (2) 第1回合同会議での意見書 (3) 各種調査結果の状況報告 【議題】 (1) 半田市産業・観光振興計画(骨子案)の検討	
8/16		第3回半田市産業・観光振興計画作業部会 【報告】 (1) 各種調査結果の状況報告 【議題】 (1) 半田市産業・観光振興計画(案)第3章、第4章の検討	
9/15	第2回産業観光振興計画策定委員会(書面開催) 【議題】 ・計画案について		
10/13		第4回半田市産業・観光振興計画作業部会 【議題】 ・計画案について	
11/17	第3回産業観光振興計画策定委員会 【議題】 ・計画案について		
1/5- 1/31			・パブリックコメントの実施
2/9		第5回半田市産業・観光振興計画作業部会(書面開催) 【議題】 ・パブリックコメントの結果 ・計画案の確認	
2/16	第4回産業・観光振興計画策定委員会(書面開催) ・パブリックコメントの結果 ・計画案の承認		

3 用語解説

	用語	意味
A	AI（エー・アイ）	アーティフィシアル・インテリジェンス（Artificial Intelligence）の略で、人工知能のこと。人の知的行動の一部をソフトウェアで人工的に再現したもの。
B	BtoB（ビー・トゥー・ビー）	"Business to Business"の略。企業が企業に対してモノやサービスを提供するビジネスモデルのこと。
	BCP（ビー・シー・ピー）	Business Continuity Plan（事業継続計画）の略。企業が自然災害、大火災、テロ攻撃等の緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段等を取り決めておく計画のこと。
D	DX（ディー・エックス）	デジタルトランスフォーメーション（Digital Transformation）の略称で、進化したITを普及させることにより人々の生活をより良いものにしていく変革。
I	ICT（アイ・シー・ティー）	インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー（Information and Communication Technology）の略で、情報や通信に関連する科学技術の総称。特に、電気、電子、磁気、電磁波などの物理現象や法則を応用した機械や器具を用いて情報を保存、加工、伝送する技術のこと。
	IoT（アイ・オー・ティー）	インターネット・オブ・シングス（Internet of Things）の略で、モノがインターネット経由で通信すること。従来インターネットに接続されていなかった様々なモノ（センサー機器、駆動装置、建物、車、電子機器など）が、ネットワークを通じてサーバーやクラウドサービスに接続し、相互に情報交換をする仕組み。
M	MICE（マイス）	企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition / Event）の頭文字を使った造語で、ビジネスイベントの総称。
	MaaS（マース）	Mobility as a Serviceの略称であり、個人の移動ニーズに対して、様々な移動手段・サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス。
S	Society5.0（ソサエティ 5.0）	仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムによって、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会のこと。狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、新たな社会を指す言葉。
あ 行	アフターコロナ	新型コロナウイルス感染症の終息後の社会や活動、生活様式などのこと。新型コロナウイルス感染症に限らない未知の感染症の存在を前提した社会を想定する社会を指す言葉。
	新しい生活様式	飛沫感染や接触感染、近距離の会話などへの新型コロナウイルス感染症対策を、これまで以上に日常生活に取り入れた生活様式のこと。
	インバウンド	外国人観光客が日本を訪れる旅行のこと。
	ウィズコロナ	新型コロナウイルスと共存した社会や活動、生活様式などのこと。

	用語	意味
	ウォーカブル	「居心地が良く歩きたくなる」こと。都市の魅力を向上させ、まちなかににぎわいを創出することが、多くの都市に共通して求められており、その1つの視点として、ウォーカブルな人中心の空間づくりが求められている。
か 行	キャッシュレス	現金を使わず、クレジットカードや電子マネー、口座振替を利用して支払い・受け取りを行う決済方法のこと。
	協働	市民と行政、または市民と市民が、同じ目標に向かい、互いの特性（強み）を活かしながら一緒に考え、協力して取り組み、みんなで楽しみながら住みやすいまちをつくるために行動すること。
	交流人口・関係人口	交流人口は、その地域に訪れる人々のこと。関係人口は、定住人口でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと。
	コンパクト・プラス・ネットワーク	人口減少・高齢化が進む中、医療・福祉・商業等の都市機能を集約し、地域公共交通と連携してコンパクトなまちづくりを進めること。
さ 行	シティプロモーション	まちの魅力を市内外に発信し、都市イメージの向上とまちへの愛着（シビックプライド）の醸成を通じて、定住人口の獲得や交流人口・関係人口の増大、企業誘致の進展などを図ること。
た 行	都市機能	都市の生活を支える機能（医療・福祉・子育て支援・教育文化・商業）
な 行	農地中間管理機構	農用地の利用の効率化及び高度化の促進を図るため、農用地等を貸したい農家から農用地を預かり、農用地を集積・集約化し、担い手の農家へ貸し付ける農地中間管理事業を進めるための組織。
は 行	ふ頭用地	港湾施設の機能を発揮するために必要な用地。具体的には、荷捌き施設、保管施設などのための用地のこと。
や 行	ユニークベニュー	博物館・美術館、歴史的建造物、神社仏閣、城郭、屋外空間（庭園・公園、商店街、公道等）などで、会議・レセプションを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場。
ら 行	6次産業化	農業が1次産業のみにとどまるのではなく、2次産業（加工）や3次産業（流通・販売）にまで踏み込んで、農産物などの「生産物が元々持っている価値をさらに高める」ことにより、農業事業者の所得（収入）向上を図る取組。
わ	ワーク・ライフ・バランス	仕事と家庭や地域での生活を調和し、双方を充実させることで得られる相乗効果や好循環を目指す、働き方・生き方のこと。